

## 公益社団法人日本動物学会 令和3年度中部支部大会（富山大会）開催報告

2021年12月4日（土）と5日（日）の2日間の会期にて表記の本大会を完全オンラインで開催いたしました。まず、本大会にご参加された多くの皆様へ感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染防止対策として昨年度の大会を中止し、本年度の開催においても大会実行員会を立ち上げた7月頃には感染状況の好転が全く見通せなかったことから完全オンライン大会による実施としました。

オンライン大会ならではのメリットとして参加や発表あるいは質問のし易さのためか、第1日目最初のセッションである高校生発表から熱い研究の思いが伝わってくる素晴らしい研究発表と活発な質疑応答がなされ、たいへんな盛会となりました。2日間の参加人数として第1日目に102名、第2日目に63名（2日目のみ18名）で、合計120名（一般及び学生参加71名、高校生（含む高専生）および教員参加49名）でした。実行委員会の事前協議でオンライン大会で起こり得るトラブルを回避するため、富山大学五福キャンパスと杉谷キャンパスにそれぞれオンライン大会実施本部・副本部を設けて停電等による通信途絶に備え、また、事前に録画動画を発表者全員に用意していただきて接続トラブルや端末トラブルにも備えました。録画動画では発表者の方々に大変なお手数をお掛けしました。危惧した通り、発表時に端末上のトラブルが少なからず発生しましたが、録画動画の再生に切り替えることにより大きな発表遅延が生じず、最初から最後まで円滑な大会進行となりました。

高校生発表と学生発表では、大会実行委員および中部支部役員が、発表要旨の解りやすさ、研究内容、プレゼンテーション上の工夫について、1発表ずつ評価しました。その結果、高校生発表では特に評価点の高かった研究発表3件を最優秀発表賞として、僅差であったため残りの研究発表11件を優秀発表賞として、それぞれ表彰しました。学生発表では、大学生による研究発表と大学院生による研究発表を分けて評価し、それぞれ最優秀発表賞1名、優秀発表賞を2又は3名を表彰しました。

中部支部大会シンポジウムでは「動物学研究の楽しさ面白さー動物の左右性研究の最前線と動物観察の重要性ー」と銘打ったシンポジウムを大会実行委員会として企画しました。鹿児島大学の小沼健会員より「脊索動物オタマボヤをもちいて左右形成の新しい領域を開拓する」とのタイトルにて、たった数百個の細胞により10時間程度でオタマボヤの形態形成が行われ、頭部と尾部で異なる左右形成の分子機構の解明などをご講演いただきました。信州大学の浅見崇比呂会員より「巻貝の右巻と左巻は内臓逆位」と題して巻貝の巻き方の遺伝様式や形質の現れ方に関して実験室における左巻きカタツムリの困難な作出の様子や進化生態学の見地よりご講演いただきました。三重大大学の後藤太郎会員より「動物の採集と飼育を通じた観察・実験の楽しさ」と題して、生態や生理に不明な点の多い毛額動物ヤムシの特徴的な諸行動の観察結果や身近な動物に着目した理科教育として有用な教材や観察機材の開発、それらを活かした理科教育の実例についてご紹介いただきました。

上記の通り、オンラインによる大会開催となったものの充実した大会を実施できたのではないかと大会実行委員として安堵しております。一方で至らぬ点もあったかと思いますが、どうかお許しください。ご参加された皆様には重ねて感謝申し上げます。来年の中部支部大会は信州大学と山梨大学に所属する会員の連携により信州大学（長野県松本市）にて開催されることになりました。新型コロナウイルス禍が明け、晴れて参加者が集うことのできる大会となることを祈念しつつ、来年の皆様のご参加をよろしく願います。

2021年12月6日

大会実行委員 松田恒平、前川清人、今野紀文、中町智哉、吉川朋子、竹内勇一、川口将史

## 高校生による発表

### 最優秀発表賞 3件

KO-05 魚の遊泳能力と耳石の形状の関係性について

○岡村 駿平

石川県立金沢二水高等学校

KO-13 カイメンの浄化作用

○中沢 椋、○岩波 理桜、○稲葉 美希、○熊谷 奏人、○新井 ゆり

長野県松本県ヶ丘高等学校

KO-14 米ぬかはバイオエタノールの材料になりうるか

○藤井 和輝、○藤坂 翠、○山澤 沙彩、○吉川 千咲子、○豊平 媛向、○美波 佳怜

富山県立富山中部高等学校

### 優秀発表賞 11件

KO-01 プラナリアの交替性転向反応

○瀧本 祐介、市橋 侑也、遠藤 栄治、長谷川 剛広

石川県立七尾高等学校

KO-02 オオグソクムシの交替性転向反応の観察

○関野萌衣、○北村天、○岩田みなみ、肥田友希、望月倫、上野晴瑚、渡邊竣、藤井莉咲、藤本慎矢、鈴木悠矢

沼津高専・知財のTKY

KO-03 ヒトデの反転運動の特性

○大月 風駕、○北城 怜桜、○澤守 望未、○澤木 文菜

長野県松本県ヶ丘高等学校

KO-04 ミズクラゲの消化器官の染色

○関谷 ひより、○宮入 大輝、○増澤はづき、○濱田 怜奈

長野県松本県ヶ丘高等学校

KO-06 海洋生物の走光性と色による反応の違い

○久納 晃、○百瀬 瑛太、○花岡 優芽、○山崎 優太

長野県松本県ヶ丘高等学校

KO-07 小型4K映像撮影システムを用いた駿河湾深海1750mの調査

○肥田友希、○鈴木檀、○小川隼輝、渡邊竣、関野萌衣、荒川琉平、藤江優光、望月倫、鈴木悠矢

沼津高専・知財のTKY

KO-08 駿河湾小型 3D 模型教材による深海生物の生息環境の考察

○渡邊竣、○藤井莉咲、○藤江優光、関野萌衣、肥田友希、小川隼輝、佐藤ふみ、伊藤ミモザ、鈴木黎菜、渡邊健太、鈴木悠矢、鈴木檀

沼津高専・知財の TKY

KO-09 共生ハゼとテッポウエビ類の共生関係について part2

○伊藤 葵、○藤坂 翠、○吉川 千咲子、○李 美和

富山県立富山中部高等学校

KO-10 いたち川における環境 DNA を用いたトミヨの生息調査

○山崎 裕貴、○井出 ゆきの、○岡本 果穂

富山県立富山中部高等学校

KO-11 ドクターフィッシュの食について

○平野 隼介、○富崎 明花、○山口 華奈

富山県立富山中部高等学校

KO-12 カメの学習能力について

○吉川 千咲子、○藤井 和輝、○山澤 沙彩、○藤坂 翠

富山県立富山中部高等学校

大学生による発表

**最優秀発表賞** 1名

O-11 単離したメダカ鰓の組織培養における高浸透圧および CaCl<sub>2</sub> 処理による Anoctamin 1 の発現変化

○富樫 彩音<sup>1</sup>、中町 智哉<sup>2</sup>、松田 恒平<sup>2</sup>、今野 紀文<sup>2</sup>

<sup>1</sup>富山大・理・生物、<sup>2</sup>富山大・学術・理学系

**優秀発表賞** 3名

O-09 陸封型イトヨにおける浸透圧調節能の違い

○寺崎 渚<sup>1</sup>、北野 潤<sup>2</sup>、森 誠一<sup>3</sup>、日下部 誠<sup>1</sup>

<sup>1</sup>静岡大・理・生物、<sup>2</sup>国立遺伝研・生態遺伝学、<sup>3</sup>岐阜協立大・経済

O-16 イトヨにおける甲状腺の組織学的解析

○瀬田 友菜<sup>1</sup>、神部 飛雄<sup>2</sup>、北野 潤<sup>2</sup>、日下部 誠<sup>1</sup>

<sup>1</sup>静岡大・理学・生物、<sup>2</sup>国立遺伝研・生態遺伝学

O-20 ツノゼミの多様な角における種間相同点の検討

○寺野 天掌<sup>1</sup>、後藤 寛貴<sup>2</sup>

<sup>1</sup>静大・理・生物、<sup>2</sup>静大・院総科・生物

大学院生による発表

**最優秀発表賞** 1名

O-13 漂流・漂着ポリスチレン由来のスチレンオリゴマーは魚類の骨代謝を攪乱する

○河合 海<sup>1</sup>、本田 匡人<sup>1</sup>、池内 俊貴<sup>2</sup>、木谷 洋一郎<sup>1</sup>、関口 俊男<sup>1</sup>、松原 創<sup>1</sup>、道祖土 勝彦<sup>3</sup>、楠井 隆史<sup>4</sup>、古澤 之裕<sup>4</sup>、高橋 ゆかり<sup>5</sup>、遠藤 雅人<sup>6</sup>、田淵 圭章<sup>7</sup>、鈴木 信雄<sup>1</sup>

<sup>1</sup>金沢大学、<sup>2</sup>長浜バイオ大学、<sup>3</sup>日本大学、<sup>4</sup>富山県立大学、<sup>5</sup>富山国際大学、<sup>6</sup>東京海洋大学、<sup>7</sup>富山大学

**優秀発表賞** 2名

O-06 ゼブラフィッシュの脳梗塞モデルに対するヒトの脳梗塞治療薬の有効性の検証

○善端 大貴<sup>1</sup>、今野 紀文<sup>2</sup>、松田 恒平<sup>2</sup>、中町 智哉<sup>2</sup>

<sup>1</sup>富山大学理工学教育部生物学専攻、<sup>2</sup>富山大学学術研究部理学系

O-12 クロヌタウナギの甲状腺で発現するペルオキシダーゼに関する分子生物学的研究

○村松 万里<sup>1</sup>、道羅 英夫<sup>2</sup>、伊藤 彰将<sup>3</sup>、河岸 洋和<sup>3</sup>、岡田 令子<sup>1</sup>、小林 哲也<sup>4</sup>、内田 勝久<sup>5</sup>、鈴木 雅一<sup>1</sup>

<sup>1</sup>静岡大・院総合科学技術、<sup>2</sup>静岡大・グリーン科学技術研、<sup>3</sup>静岡大・創造科学技術、<sup>4</sup>埼玉大・理、<sup>5</sup>宮崎大・農